

令和2年度事業報告書

令和2年度事業報告

(自 令和2年4月1日 ~ 至 令和3年3月31日)

1	調査・研究事業	1-2
2	普及啓発事業	2-3
3	教育研修事業	3-4
4	リウマチ財団登録医養成事業	4
5	リウマチ専門職制度事業	4-5
6	災害時リウマチ患者支援事業	5
7	法人賛助会員セミナーの開催延期	5
8	関連団体等への助成	5
9	理事会の開催状況	5-6
10	総務報告	6

令和2年度事業報告

1 調査・研究事業

調査研究事業については、前年度に引き続きリウマチ性疾患の病因、診断・治療、予防・疫学等に関する広範な調査・研究の助成等を行った。

(1) リウマチ性疾患に関する調査・研究の助成

① 令和2年度リウマチ性疾患調査・研究助成

リウマチ性疾患の病因、診断・治療、予防・疫学等に関する調査研究について、各100万円の助成を行った。

助成者	所属	研究題目
浅野 澄恵	川崎医科大学 リウマチ・膠原病学助教	骨細胞様細胞と炎症に着目した血管石灰化の病態解析～石灰化退縮を目指す新規治療戦略の探索～
茂久田 翔	広島大学病院 リウマチ・膠原病科 研究員	関節滑膜のアポトーシスを制御するイントロン型マイクロRNA・宿主遺伝子の機能的協調性の解析と核酸医薬への展開

② 令和2年度塩川美奈子・膠原病研究奨励賞

調査・研究助成のうち、膠原病の領域で特に優れた1件を選考し、100万円を助成した。また、令和3年度塩川美奈子・膠原病研究奨励賞の公募を行った。

助成者	所属	研究題目
河野 通仁	北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室助教	人工多能性幹細胞を用いた精神神経ループスの病態解明

(2) 令和2年度医学賞の授与と令和3年度の募集

リウマチ学の発展・進歩に大きく寄与する独創的な研究を顕彰し、助成することを目的とする「ノバルティス・リウマチ医学賞」授賞者1名を選考し、賞金300万円を授与した。また、令和3年度ノバルティス・リウマチ医学賞の公募を行った。

助成者	所属	研究題目
田中 良哉	産業医科大学医学部第1内科 学講座教授/産業医科大学大 学院医学研究科研究科長	関節リウマチの「ドラッグホリデー」を目指す治療法の確立に関する研究

(3) 令和2年度日本リウマチ財団リウマチ福祉賞の授賞

リウマチ性疾患に悩む患者に対して、永年にわたる医学的又は社会的救済活動を通じて、著しく貢献のあった個人又は団体を表彰することを目的とする「日本リウマチ財団リウマチ福祉賞」（賞金20万円）の授賞を行った。

氏名	所属
倉田 典和	東京女子医科大学東医療センター 副技士長

(4) 令和2年度日本リウマチ財団リウマチ専門職表彰の授与

リウマチ性疾患に関わるリウマチ専門職として、継続的にリウマチ性疾患に対する医療・ケアの向上に貢献したことを讃え、その功績を積極的に社会・国民に発信するため、「日本リウマチ財団リウマチ専門職表彰」(各10万円)を授与した。

表彰者	所属	実践活動・教育活動・研究課題
看護師： 田口 紗理	駒ヶ嶺リウマチ整形外科 クリニック	リウマチ治療に関する学会発表・ 講演の実績
薬剤師： 宮崎 徹	厚生連高岡病院薬剤部 調剤課課長	関節リウマチ治療薬による副作用の回避のための取り組み
作業療法士： 松元 義彦	鹿児島赤十字病院第二 リハビリテーション課長	リウマチ性疾患のリハビリテーション（作業療法、関連する自助具・福祉用具・スプリント）等

(1)-②及び(2)～(4)の各賞については、6月12日に厚生労働記者会及び厚生日比谷クラブ、本町記者会に、各賞の趣旨や授賞理由また功績等の資料を提供することにより広報を行った。

2 普及啓発事業

(1) 機関紙「日本リウマチ財団ニュース」の発行

リウマチ性疾患に関する診療技術や専門的知識向上の支援及び適切かつ迅速な情報の提供を目的として発行し、リウマチ財団登録医を主にリウマチケア看護師、リウマチ財団登録薬剤師、リウマチ財団登録理学・作業療法士等へ行う普及啓発の一翼を担うものである。

名称：「日本リウマチ財団ニュース」第160～165

部数：年6回発行、各約3,800部（他、電子配信約2,500）

配布先：リウマチ財団登録医、リウマチケア看護師、リウマチ財団登録薬剤師、リウマチ財団登録理学・作業療法士、賛助会員、関係機関等

(2) 令和2年度リウマチ月間リウマチ講演会の開催中止

リウマチ性疾患の征圧に向けた普及啓発や教育研修の充実を図ることを目的に開催準備を進めてきたリウマチ月間リウマチ講演会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、平成元年より継続的な月間事業の一環として毎年開催してきたが、開催中止は初めてのことである。

令和2年度リウマチ月間リウマチ講演会実行委員会

委員長：川合 眞一 東邦大学名誉教授/医学部炎症・疼痛制御学講座教授

メインテーマ：多職種エキスパートによるリウマチ医療を目指して

(3) リウマチ情報センターの運営

医療情報委員会（委員長：高林克日己 千葉大学名誉教授）において、インターネットにより日本リウマチ財団、患者さん・一般、医療関係者向けの情報提供を実施した。

令和2年度中閲覧数：4,318,891件（前年度：7,376,077件）

ページ訪問数：2,268,576件（前年度：3,944,815件）

セキュリティ強化のためSSL証明書を取得、これによりURLが

<http://www.rheuma-net.or.jp/> から <https://www.rheuma-net.or.jp/>となる。

3 教育研修事業

- (1) 教育研修委員会（委員長：富田哲也 大阪大学大学院医学系研究科運動器バイオマテリアル学准教授）において、リウマチ財団登録医やリウマチ診療に従事する医師、リウマチケア看護師、リウマチ財団登録薬剤師、リウマチ財団登録理学・作業療法士、メディカルスタッフ等を対象としたリウマチの治療とケア教育研修会を、新型コロナウイルス感染症の影響により全国6地区のうち4会場で実施した。参加者数は、延べ873名（登録医55名、一般医9名、大学院生7名、登録看護師316名、登録薬剤師207名、登録理学・作業療法士59名、メディカルスタッフ220名）であった。

また、全面改訂を施す「リウマチ病学テキスト」については、日本リウマチ学会生涯教育委員会との合同協議により、第3版を南江堂から刊行することを決め、本格的な改訂作業に着手した。

(2) リウマチ医（リウマチ財団登録医）の会の開催

「都道府県リウマチ登録医の会の指定について（平成3年運営委員会決定）」に基づき、リウマチ財団登録医等リウマチ診療に従事する医師を対象に5都県で延べ10回実施した。参加者数は、延べ299名であった。

(3) 財団主催以外の教育研修会への教育研修単位付与

- ① 医師を対象とした教育研修単位の認定申請数及び認定数は、258件であった。
- ② 看護師を対象とした教育研修単位は認定申請数及び認定数は、286件であった。
- ③ 薬剤師を対象とした教育研修単位は認定申請数及び認定数は、278件であった。
- ④ 理学療法士・作業療法士を対象とした教育研修単位の認定申請数及び認定数は、235件であった。

(4) 海外派遣医制度

学術助成委員会（委員長：竹内勤 慶應義塾大学医学部リウマチ・膠原病内科教授）において、「海外派遣医募集要項」に基づき、若い優れたリウマチ専攻医3名を海外に研修のため派遣した。奨学金は各人100万円である。新型コロナウイルス感染症の影響により感染対策上渡航に関して、令和2年度の出発とする条件を緩和して対応することとした。

[米 国] 2名

氏 名	専 門	所 属	研 修 先	指 導 者
渡辺 晴樹	リウマチ科	岡山大学病院 リウマチ膠原病 内科助教	The Feinstein Institute for Medical Research	Myoungsun Son, PhD
佐々木貴紀	内科 リウマチ科 基礎	慶應義塾大学 医学部リウマチ・ 膠原病内科助教	Division of Rheumatology, Immunology, and Allergy, Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School	Dr. Deepak Rao

[欧 州] 1名

氏 名	専 門	所 属	研 修 先	指 導 者
杉山裕美子	リウマチ科	横浜市立大学附属 市民総合医療セン ターリウマチ膠原 病センター助教	スウェーデン Karolinska Institutet	Ingrid Lundberg

(5) 国際学会におけるリウマチ性疾患調査・研究発表の助成

学術助成委員会（委員長：竹内勤 慶應義塾大学医学部リウマチ・膠原病内科教授）において、「国際学会におけるリウマチ性疾患調査・研究発表に対する助成要綱」に基づき、若手の医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士である研究者等に対して助成を行った。

調査・研究発表題目	氏 名・所 属	調査・研究 発表学会
Deletion of miR-223 Exacerbates Lupus Nephritis by Targeting Slpr1 in Fas ^{1pr/1pr} Mice	浅野 澄恵 川崎医科大学 リウマチ・膠原病学助教	ACR2020 助成額 25 万円

4 リウマチ財団登録医養成事業

リウマチ専門職委員会（委員長：松本美富士 桑名市総合医療センター膠原病リウマチ内科顧問）において、令和2年度新規リウマチ財団登録医28名の審査及び28名の登録とリウマチ財団登録医資格更新996名の審査及び登録を行った他、令和3年度新規リウマチ財団登録医の申請受付を開始した。

5 リウマチ専門職制度事業

リウマチ専門職委員会（委員長：松本美富士 桑名市総合医療センター膠原病リウマチ内科顧問）において、令和2年度新規リウマチケア看護師80名の審査及び80名の登録とリウマチケア看護師資格更新73名の審査及び登録、ならびに令和2年度新規リウマチ財団登録薬剤師15名の審査及び15名の登録とリウマチ財団登録薬剤師資格更新84名の審査及び登録、そして令和2年度新規リウマチ財団登録理学・作業療

法士 78 名の審査及び 78 名の登録を行った他、令和 3 年度新規リウマチ財団登録理学・作業療法士の申請受付を開始した。

6 災害時リウマチ患者支援事業

リウマチ性疾患の治療には生物学的製剤等、他の疾患では使用しない医薬品が多いことから、大規模災害発生時に患者さん自身がどのような医薬品を使用しているか分かるように、ホームページに「私のお薬は?」、「予期せぬ災害—そのときに」等を掲載し、患者支援を行っている。

7 法人賛助会員セミナーの開催延期

一般財団法人難病治療開発機構理事で横浜市立大学名誉教授である横田俊平先生により「リウマチ膠原病とコロナ感染症におけるサイトカインストームについて」と題した講演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により、開催を延期し、来春の開催を目途に調整中である。

8 関連団体等への助成

公益社団法人日本リウマチ友の会へ助成を行った。

9 理事会等の開催状況

(1) 理事会

第 29 回理事会（書面表決）

年 月 日：令和 2 年 6 月 8 日

議 題：第 1 号議案 令和元年度事業報告に関する件
第 2 号議案 令和元年度決算に関する件
第 3 号議案 理事長及び業務執行理事による職務状況の報告に関する件
第 4 号議案 第 10 回定時評議員会の招集に関する件

第 30 回理事会

開催年月日：令和 3 年 3 月 9 日（火）午後 4 時～5 時

開催場所：学士会館 320 号室 東京都千代田区神田錦町 3-28
（Web 会議システム（Zoom）を用いたハイブリッド形式）

出席者数：理事 9 名 監事 2 名

議 題：第 1 号議案 令和 3 年度事業計画に関する件
第 2 号議案 令和 3 年度収支予算に関する件
第 3 号議案 就業規則の一部改正案に関する件
第 4 号議案 第 12 回臨時評議員会の招集に関する件
その他 ・理事長等の職務状況の報告に関する件
・その他

(2) 評議員会

第10回定時評議員会（書面表決）

年 月 日：令和2年6月26日

議 題：第1号議案 令和元年度事業報告に関する件
第2号議案 令和元年度決算に関する件

第12回臨時評議員会

開催年月日：令和3年3月9日（火）午後5時～5時30分

開催場所：学士会館320号室 東京都千代田区神田錦町3-28

（Web会議システム（Zoom）を用いたハイブリッド形式）

出席者数：評議員14名 理事9名 監事2名

議 題：第1号議案 令和3年度事業計画に関する件
第2号議案 令和3年度収支予算に関する件
第3号議案 就業規則の一部改正案に関する件
その他 ・その他

10 総務報告

役員名簿、評議員名簿、委員会等の委員名簿とその活動状況、また当財団後援名義使用を許可した行事一覧、法人賛助会員（法人、個人）、職員状況などを取り纏めたものである。